

鉛筆は不可。黒のボールペン等で御記入ください。

令和6年度 就学援助費支給申請書（兼世帯票）

【児童生徒1名に1枚必要です】

令和 年 月 日

(宛先) 伊那市教育委員会

保護者住所 伊那市 _____

行政区・町名 (_____)

保護者氏名 _____

(電話 _____)

就学援助を受けたいので申請します。

※裏面にも署名する欄があります

I 【家族構成（保護者記入）】 住民票上は別世帯であっても、同居し生計を一つにしている場合は記入してください。

※該当する児童・生徒のNo.を○で囲む	No.	氏名	続柄	生年月日(年齢※) ※令和6年1月1日現在の年齢	勤務先(職業) 又は学校名・学年	収入の有無	障害があれば○
	1		本人	()		有・無	
	2			()		有・無	
	3			()		有・無	
	4			()		有・無	
	5			()		有・無	
	6			()		有・無	
	7			()		有・無	
	8			()		有・無	

II 【援助申請理由（保護者記入）】 ※該当する番号に○をつけてください。

申請理由	添付書類
1 生活保護を受けている。	
2 生活保護を停止又は廃止された。	
3 世帯員全員が市民税非課税である。	【注1】
4 市民税、個人の事業税又は固定資産税が減免されている。	減免の決定通知書の写し
5 国民年金保険料が免除されている。 または、国民健康保険料が減免又は徴収猶予されている。	減免の承認通知書の写し 徴収猶予の許可通知書の写し
6 児童扶養手当（=ひとり親家庭等対象の手当）を受給している。	「児童扶養手当証書」写し
7 生活福祉資金貸付制度による貸付を受けている。	借用書の写し
8 保護者の失業・倒産・長期療養・火災・交通事故などの不慮の災害等により収入状態が悪く、被服、学用品等に不自由している者等で生活が極めて困難である。	失業＝「雇用保険受給資格者証」写し 遺族年金を受給している場合は、年金証書の写し【注1】
9 その他、特に援助を必要と認める状態にある。	

◆添付書類：同一学校に兄弟姉妹がいる場合、上級学年の申請書へ1部添付。学校が別の場合は各学校の上級学年へ1部添付。

【注1】3、8、9の理由で申請する方で、令和6年1月2日以降に伊那市へ転入した御家庭は、転入前の住所地市区町村発行の所得（課税）証明書（令和6年度※）を添付してください。証明は6月から発行する自治体が多いため、間に合わない場合は後日提出してください。※令和5年1月から令和5年12月までの収入状況が記載されるもの。

裏面へ

Ⅲ【家庭の状況及び承諾（保護者記入）】

家庭の状況（具体的に記入してください。）

◆ ひとり親家庭である場合は必ず下記へ○印または記入をお願いします。

1 生別
 ア 児童扶養手当受給中（証書写し添付） イ 児童扶養手当申請中（ 月 日申請）
 ウ その他（具体的に）

2 死別
 ア 遺族年金を受給中（年金証書写し添付） イ 遺族年金申請中 ウ 遺族年金は受給できない

◆ 失業中で雇用保険受給資格者証写しを添付しない場合はその理由
 ア 受給期間満了（ 年 月） イ 申請中 ウ 受給資格なし エ その他（ ）

家賃
 （借家の方は、家賃の月額を記入してください。） 円／月額

【調査確認・助言・情報提供及び委任の承諾】
 就学援助の認定にあたり、必要に応じて世帯員全員の所得の状況及び上記の該当項目の状況について教育委員会が関係機関へ照会、台帳の閲覧などの調査確認をすること、学校長及び地区民生児童委員に助言を求めることを承諾します。また、学童クラブ使用料減免の可否判定資料として審査結果を担当課へ情報提供することに同意します。この申請が認定された場合、今年度伊那市教育委員会から支給される援助費の請求、管理、処理の権限を学校長に委任することを承諾します。
 保護者氏名

Ⅳ 学校長の意見等（保護者の方は記入しないでください。）

1 就学援助費の支給が必要な家庭である。 2 就学援助費の支給は必要ないと考える。

（その他特記事項）

学校長 氏名 ④

Ⅴ 民生児童委員記入欄（保護者の方は記入しないでください。）

民生児童委員 氏名 ④

Ⅵ 教育委員会

認定の適否	1 認定	2 不認定	理由
認定年月日	年	月	日
変更年月日	年	月	日
（変更内容）			
			伊那市教育委員会 印

※ この申請書は、伊那市教育委員会学校教育課で保管します。